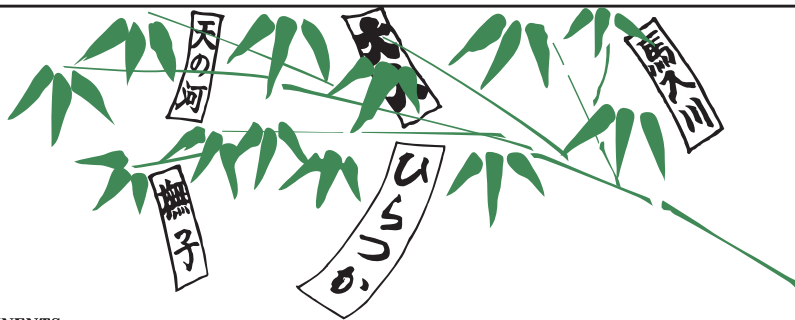




2010～2011年度 国際ロータリーテーマ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
地域を育み、大陸をつなぐ



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 桐本美智子 ●副会長 小飯塚立雄 ●幹事 柏手 茂 ●会報委員長 工藤光和 (2010～2011年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2763回 2010年11月18日 グランドホテル神奈中 週報第2763号

本日の卓話者ご紹介

石川 旺 (いしかわ さかえ) 様



卓話

「最近のメディア報道の疑問点」

石川 旺

最近、大手マスメディアの中に自ら世の中を動かそうとする意識が強まっているように見受けられる。1994年の読売新聞による「憲法改正試案」の発表、2000年の同紙による教育基本法改革提言、2007年の二大政党大連立の働きかけなどがその例である。こうした動きには本来のメディアの役割を逸脱しているのではないかとの批判が強い。

このように表から見える動きに対し、最近では世論調査が世の中の動きに決定的な影響力を持ち始めている。「内閣支持率低下」という記事が出ると政治はその数字に左右されるのが実態であり、その内閣支持率は実は報道の結果に左右されている。ではその報道の質はどうか。現代日本の大きな問題として指摘されているのは報道の質である。

普天間基地の問題を例にとると、報道は政府批判を繰り返し、当時の鳩山内閣支持率の低下を招いた。その批判記事は「日米安保中心」「核の傘重視論」「米軍抑止力論」などの枠組みを固守し、アメリカが喜ぶ記事の氾濫であった。朝日12/9「合意が壊れる」、12/22「米商務長官不快感示す」。毎日12/7「米国は怒っている」12/29

「米の意向無視できぬ」などの記事が2009年に見られ、読売は翌年1/4「米軍は常に日本に駐留してこそ有事への抑止力や即応能力を発揮できる」と書いた。

これらの記事には「アメリカに譲歩を迫る世論を喚起する」という視点は皆無であった。

尖閣諸島を巡る最近の報道も同様である。船長の解放、ビデオ流出などで記事はすべて政府批判に向いている。問題の当初から、本来痛烈に批判されるべきは中国であるが、日本のメディアはきちんと中国に対する批判を述べ、世論を喚起し、さらには国際社会に中国の非を周知する努力をしていない。

外交問題に関し、メディアが自国政府批判しかしないのが日本の現状である。ここに現れているのは日本の大手メディアの問題照射能力の不足である。メディアは政府批判という言葉が持つ快い響きに溺れ、それがジャーナリズムと錯覚し、結果として他国に利を与えている。外国の批判ではメディアは手ごたえを得られない。しかし、政府批判は世論調査でその手ごたえを知ることが出来る。その陥穽がメディアに意識されていない。

卓話者プロフィール

石川 旺(さかえ) 大磯町在住
学歴

- 1966 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
- 1968 ミシガン州立大学大学院コミュニケーション学科修士課程修了(M.A.取得)

職歴

- 1970.4 NHK 入局 放送文化研究所配属
- 1987.7 同所 主任研究員
- 1992.4 - 2009.3 上智大学文学部新聞学科教授
- 2009.4 - 2010.3 上智大学文学部特別契約教授
- 1976 - 1993 早稲田大学第二文学部非常勤講師
- 1979 - 1981 法政大学社会学部非常勤講師
- 1995 メキシコ国立自治大学非常勤講師
- 2009- 早稲田大学政治経済学部非常勤講師
- 2009- 学習院女子大学非常勤講師

学位

- 1968.6 修士 ミシガン州立大学
- 2000.3 博士 上智大学

<出席報告>

本 日11月18日	会員数 61名	対象者 56名	出席者 45(3)名	出席率 75.00%			
前々回10月28日	会員数 60名	対象者 55名	出席者 60(55)名	出席率100.00%	MUP 6名	計 55名	修正率100.00%

著書

パロティングが招く危機 2004 リベルタ出版 (単著)
 放送評価の枠組みにおける制度評価
 2000 湘南ジャーナル社 (単著)
 Quality Assessment of Television
 1996 John Libbey Media/Univ. of Luton Press (編著)
 放送と通信のジャーナリズム
 2009 ミネルヴァ書房 (共著)
 市民社会とメディア 2000 リベルタ出版 (共著)
 活動
 SCN 番組制作ボランティア 「市民クラブTV」番組制作

<幹事報告>

◎国際親善奨学生オリエンテーション開催のご案内

日時：12 / 5 (日) 13:00 ~ 16:00

場所：藤沢産業センター 8F

*成瀬会員 (カウンセラー) が出席致します。

◎「ロータリアン検索ネットワーク」説明会開催

日時：11 / 24 (水) 15:30 ~

場所：藤沢産業センター 8F

*鶴井副幹事が出席致します。

◎市より『第41回平塚市少年少女マラソン大会開催(案)』届きました。

日時：2011年3月6日(日) 開会式 9:00

場所：平塚競技場

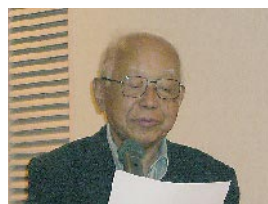
対象：本市在住、在学する小学5年~中学3年生

<委員会報告>

●親睦委員会 副委員長 古屋忠信会員

今年度のクリスマス家族例会は、12 / 16 (木) 行います。皆様に楽しんで頂けるよう準備を進めております。詳細は後日お知らせ致します。ご予約に入れておいて下さい。

新会員紹介



新会員紹介する今村会員

吉柳 恵子 (きりゅう けいこ) 様

音楽教育推進協議会 常任理事

生年月日 昭和20年8月17日

家族 3人家族……夫、長男、(長女は結婚して東京在住)

出身 長崎

趣味 書道、ガーデニング、読書

長所 やる気、根気

短所 物忘れ

モットー 誠実、努力、実践

職歴 教諭。教育委員会勤務(指導主事、子ども教育相談センター所長)。

小学校教頭、校長。平塚市教育委員、教育委員長

現在熱中していること 歩くこと。英会話(定年退職後念願だった英会話スクールに通学中(できの悪い生徒です))

今後の夢 通訳なしに英会話ができること(生きてるうちに実現するかどうか?)
 孫の顔を見ること

<メイクアップ> 6名

木村・白石・水越・梅崎・門井・常盤 各会員

<ゲスト> 竹久佳恵様



特定非営利活動法人AMD A 社会開発機構 海外事業本部プログラムマネージャー

2002年AMD Aに入職。ベトナム事業調整員として現地に駐在。2005年より岡山本部事務所にてアジア事業(ベトナム・ミャンマー・カンボジア)を日本からサポートする一方で、現地にもたびたび赴き、各事業の円滑な運営に尽力した。海外事業部アジア事業チーム長を経て、2007年5月よりミャンマー事業統括として現地に駐在。中央乾燥地帯でのマイクロクレジット事業や中国(雲南省との)国境地域、事業を実施。2010年6月に帰国し、同年7月より現職。

特定非営利活動法人AMD A 社会開発機構

特定非営利活動法人アムダが実施してきた活動のうち、中長期の社会開発事業を承継した団体。地域保健や貧困削減に関連した社会開発事業をより効果的に運営し、質の高い成果を達成することができるよう、組織力の強化と専門性の向上を念頭に2007年に設立された。国連経済社会理事会から総合協議資格を授与されたAMD Aグループの構成団体。開発途上国において、生計、健康、生活環境の向上を通じて貧困からの脱出を願う人々と共に、社会開発を中心とした国際協力の活動を実施し、また国境を越えた市民社会のつながりを基盤とした社会教育の推進を図る活動等を通じ、貧困の軽減、社会の発展、平和の構築に寄与することを目的とし、アジア(ミャンマー、ネパール)、アフリカ(ジブチ、ザンビア)、中南米(ホンジュラス、ペルー)において活動を行っている。

<本日のスマイル> 9名

<卓話・行事予定>

12月 2日(木) クラブ年次総会
 9日(木) 上期情報集会報告
 16日(木) クリスマス家族夜間例会
 23日(木) 休会(祝日)
 30日(木) 休会 定款による

<市内例会変更>

平塚西 12/10(金) 夜間例会→通常例会 12:30~